

令和7年度 洛友中学校の教育

【学校コンセプト】

昼間部と夜間部の良さを生かし、世代や国籍を超えてふれあい学びあう学校

昼間部：不登校を経験し克服しようとする生徒のための新しい学びの場

夜間部：様々な事情で義務教育を受けることができなかった方・十分に受けることができなかった方の学びの場

【学校教育目標】

夢やよろこびを大切にする生徒を育てる

【目指す生徒像】

- ① 主体的に学習ができる生徒（確かな学力）
目標に向け、進んで学習に取り組むことができる生徒
- ② 人権感覚が豊かな生徒（豊かな心）
自分や人を大切に思い、互いの違いを尊重し、支え高めあうことができる生徒
- ③ 自己管理ができる生徒（健やかな体）
命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るくいきいきと生活できる生徒

【学校経営方針】

「学びたい」との志を大切にし、
昼間部と夜間部が心一つに『チーム洛友』となり、生徒が目を輝かせて、
「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を体感できる学校を目指す

- ① 「学びたい」との志を大切にし、生徒一人一人に寄り添い、じっくり、しっかり、育み、学校へ通う目的意識の具体化を図る。
- ② 自己有用感や自己肯定感等を高めることができるように、教育活動のあらゆる場面において、一人一人の生徒が「自ら学び」、「自ら律する」力を育てる機会をつくる。
- ③ それぞれの思いを伝えあい、お互いに尊重し高めあう集団づくりを進めるため、総合的な学習の時間（「交流の時間」）や学校行事等における、昼間部・夜間部生徒の有機的な交流を図る。
- ④ 多様な生徒に応じた柔軟な教育課程の編成や学びのスタイルの運用。
- ⑤ 生徒の困りや学力実態を踏まえた学習指導、教材作成など、きめ細かな指導を実践する。
- ⑥ 常に一人一人の生徒の心のケアや健康状態を気遣う。
- ⑦ 校内整備・校内美化に取り組み、豊かな心を育てる環境づくりを図る。
- ⑧ すべての教職員がそれぞれの役割を果たすとともに、常に連携し、情報共有を図りながら、生徒にとって、もっとも適切な教育の推進を図る。
- ⑨ 昼間部と夜間部が世代や国籍を超えてふれあい学びあう学校として、創造的な取組を柔軟に推進すると共に、その情報を積極的に発信する。

令和7年度において意識的に取り組むべき具体的内容

- 本校教育に則したカリキュラムの研究
 - 学習指導要領を踏まえつつも、生徒の実態を考慮した授業の実践
(カリキュラム・マネジメントにもとづいた、昼間部・夜間部の多様な実態を踏まえた授業づくり)
 - 道德教育の充実
 - 総合的な学習の時間(「交流の時間」)の充実
 - 日本語指導(夜間部)の充実
 - 合同授業(実技教科)の充実
 - GIGAスクール構想の推進
- 生徒の実態を踏まえた評価・評定のあり方についての検討(昼・夜間部それぞれ及び全体)
- 校内授業研究・相互参観の実施(昼・夜間部の交流推進)
- 社会に開かれた教育活動推進事業等の継続と有効活用
- 授業や家庭学習など、様々な場面や目的に応じた ICT (GIGA 端末) の有効活用
- 昼間部と夜間部の情報共有と行動の連携(生徒指導面を含む)
- 図書館教育の充実(言語活動の充実に向けた積極的活用)
- 芸術活動、文化体験活動を通した心の豊かさの育成・交流の推進
- 洛風中学校との連携(合同教職員研修会、相互参観、情報共有の実施)
- 地域との連携
(学校運営協議会との連携による地域行事への積極的参加、人材の活用等)
- 関係機関(福祉及び医療機関、児童相談所等)との積極的な連携
- SC・SSW との連携
- 教職員研修会(各教科・領域、人権教育、外国人教育、生徒指導、不登校、カウンセリング、発達障がい、全夜中研等)への積極的参加
- 学びの多様化学校、夜間中学校等、さまざまな取組を実践している学校等との交流・連携
- 小中およびふれあいの杜等との連携
- 広報活動の積極的展開(本校を必要としている人への周知徹底)
- 外部諸機関からの視察や研修の受け入れ

「学びたい」との思いを大切に、
生徒に寄り添い、じっくり、しっかり、育みましょう。

- ☆ 多様な生徒一人一人を理解し、積極的で、かつていねいにかかわることを心がけましょう。
- ☆ 生徒主体に考え、みんなで議論しましょう。そして、単に、これまでの取組を継承するのではなく、目の前の生徒にとって必要な取組を積極的に実践しよう。

コロナ禍のもと実施することができなかった、制約のあった取組を見直し、昼夜間部生徒の現状を見据えた必要な取組を実践しましょう。